



Mental Wellness !

〔学生総合相談通信 No.47〕

発行 : 平成27年9月14日

拓殖大学学生総合支援室

今日から後期スタート。夏季休暇はいかがでしたか？大学生活の充実度は長期休暇の活用で左右されるものです。今夏の出来事を振り返り、次への課題が発見できれば良いですね。そして、円滑に大学生活が始動できるように願っています。

## Topic 男性・女性…性別について悩んでいるか？！

インターネットで、『知ることからはじめよう みんなのメンタルヘルス総合サイト』〔厚生労働省〕を検索してください。「こころの病気を知る→病名から知る」に進むと、性別についての悩み、不安のメカニズムについてとても分かりやすく解説されています。【以下、同サイトより引用・抜粋】

### 性同一性障害 (gender identity disorder)

女性なのに、自分は「本当は男なんだ、男として生きるのがふさわしい」と考えたり、男性なのに「本当は女として生きるべきだ」と確信する現象を「性同一性障害 (gender identity disorder, G I D)」と呼びます。このような性別の不一致感から悩んだり、落ち込んだり、気持ちが不安定になることもあります。性同一性障害については、まだ理解が進んでいるとはいえ、診断や治療ができる病院も多くはありません。

※ 同サイト内では、どのような病気であり、その症状や治療法、法的側面等について解説されています。

#### 【性別を考える2つの側面】

性別といえば、男性か女性の2種類に分かれると多くの人たちは単純に考えます。しかし、性別には生物学的な性別 (sex) と、自分の性別をどのように意識するのかという2つの側面があります。性別の自己意識あるいは自己認知をジェンダー・アイデンティティといいます。多くの場合は生物学的性別と自らの性別に対する認知であるジェンダー・アイデンティティは一致しているため、性別にこのような2つの側面があることには気づきません。しかし、一部の人ではこの両者が一致しない場合があるのです。そのような場合を「性同一性障害」といいます。つまり、性同一性障害とは、「生物学的性別 (sex) と性別に対する自己意識あるいは自己認知 (gender identity) が一致しない状態である」と、定義することができます。 ※ 「ジェンダー」については、サイト内で確認して下さい。

#### 【主な3つの症状】

性同一性障害を有する人にみられる症状は、「自らの生物学的性別とジェンダー・アイデンティティが一致しない状態」から生じるものです。しかも、生物学的性別をジェンダーに近づけたいという願望からくる症状として、理解することができます。

1. 自らの性別を嫌悪あるいは忌避する
2. 反対の性別に対する強く、持続的な同一感を抱く
3. 反対の性別としての性別役割を果たそうとする

※ 以下、詳細については、サイトを通じて確認して下さい。

大学生活に対する不安や悩みなどがありましたら是非一度、総合支援窓口である学生総合支援室へ来室して下さい。随時、専門職である学生主事が相談に応じます。

八王子国際キャンパス 管理研究棟1階  
文京キャンパス C館2階  
※月～金 9:00～17:00

八王子学生総合支援室 [学生主事3名]  
学生総合支援室 [学生主事5名]  
土 9:00～15:00

### 各種相談日のご案内【9月・10月】

- 心の健康相談日—専門医が来校し、心の健康に係わる不安や悩み等への医学的対処法を直接アドバイスしています。

〔文京キャンパス〕 9月18日、10月9日・30日(金) 14:30～17:00  
〔八王子国際キャンパス〕 10月22日(木) 13:30～16:00

- 法律相談日—本学教員による、法律に係わる諸問題についての相談機会を設けています。

〔文京キャンパス〕 10月1日(木) 11:30～12:30

- 女子学生のための相談日—本学女性教員による、女子学生のための相談機会を設けています。

〔八王子国際キャンパス〕 10月2日(金) 12:40～13:20

〔予約制〕 相談希望者は、何れかのキャンパス「学生総合支援室」で事前に予約して下さい。

次回発行予定 平成27年10月5日(月)